

地域新聞 みあき 第19号

地域新聞みあき製作委員会
令和5年6月1日 発行
連絡先 info.miaki@gmail.com
公式HP <https://www.miaki.org>



総会終盤の様子

3月12日、「令和4年度三秋地区通常総会」が開催されました。令和4年度の活動報告及び会計報告等が行われ、後、総代(2名)、各組長・副組長、神代総代の改選が行われ、滞りなく総会は終了しました。旧役員の方、一年間お疲れ様でした。そして、新役員の方、これから一年間よろしくお祈りいたします。



通常総会開催の様子

三秋通常総会開催、
新年度スタート
(文責) 原田 浩明

①高井龍美(タカイタツミ)専務総代、66歳・生き物の飼育(メダカ、山羊、烏骨鶏他)②三秋地区の行政・防災について、これから勉強しようという意気込みで、コロナも終わりに近づいて、積極的にイベント、行事に参加し、周囲に巻き込み、活発に推進していきたいと思っています。③三秋地区の行事、特に子供たちの記事を目にする機会が多くなりました。今では少人数のみあき新聞を通して知ることができ、大変ありがたいです。④今年だけとは違って、

今年度(令和5年度)改選となり、ご紹介した新役員2名の方をご紹介します。以下次の形式にて記載。
①氏名(フリガナ)・役職・年齢・趣味特技等
②新年度への抱負について
③地域新聞みあきに期待すること、或いは思うこと
④住民の皆さんへ一言



左から神野新総代、西村区長、高井新専務総代

新任役員プロフィール
(文責) 原田 浩明

三秋川の起点
(文責) 日山 貞治
旧伊予市の主要河川流域は、①森川流域②市街地流域③大谷川流域④長尾谷川流域の

①神野昌直(ジンノマサナ)・総代、54歳・昔は木を真つすぐに切ることも出来ないポンコツでしたが、生活必需品、少しずつDIYに取り組み、みだすようになりました。②三秋で生活させて頂いて20余年、2人の子供も元気に明るく社会人として成長しました。自然あふれるこの三秋という地域に、少しでも恩返しが出来よう、新型コロナという未知の事態にも継続されてきた制限が今もなお継続されている中、ご時世ですが、自分なりに精一杯努めて頂きたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

③地域活性に向けて、様々な取り組みをされていることについて、毎回楽しく拝見させて頂いています。④先ずは、健康で安全安心ある暮らしが大事と考えております。様々な事情によりコミニケーションが取りづらくなってきていることも多いかと思われ、段階的ではありますが、少しずつ元の平常な日々に戻すべく、取り組んで参りますので、皆さまご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

したが、何分にも初めてのことですので、至らないことだらけですが、皆さまに助けて頂きながら頑張ります。

三秋川の河床には、六角柱の柱状節理の発達した黒雲母安山岩の石がごろごろしている。三秋川と烏谷川の合流部には溜池があるため、溜池のない荒谷川や、荒谷川の支流

三秋川は、中村集落で森川と合流し、森川最大の支流となっており、南西へ北東の地層の走向方向に沿って流れる。適従河川で、源流は明神山(標高634m)の麓です。上流部の谷合(姥が谷)には、三秋大池があります。



起点

3月12日、「伊予市ががんばる地域コミュニティ応援事業交流会」が伊予市役所内で開催されました。当新聞もこれに参加、活動報告や今後の展望を説明し、他団体との意見交換を行いました。特に、上吾川地区で活動している「いよあかり」という共通点で意気投合し、近いうちにもコラボ企画が出来たらという話に発展。今後の展開に期待です。



交流会の様子



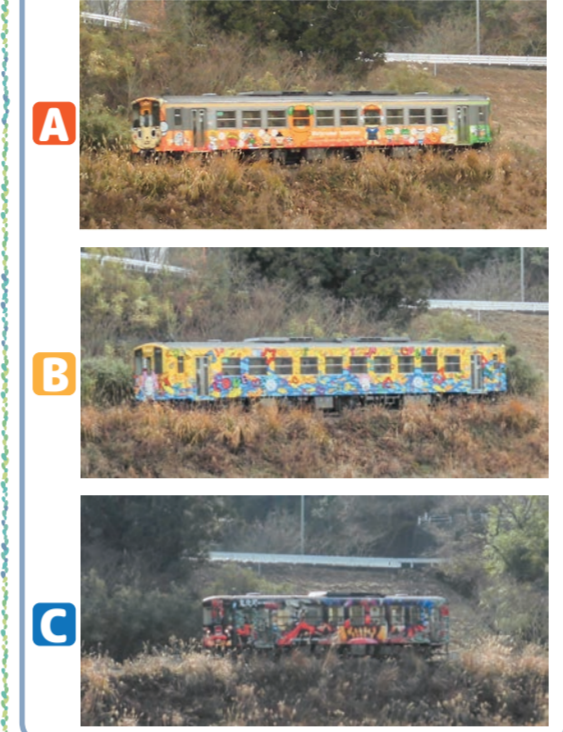
起点左岸

他団体との交流
(文責) 原田 浩明
流である石尾谷川の上流の谷筋から流れ出る土砂がもたら

読者プレゼントコーナー ～ラッピング車両に関するクイズ～

三秋地区を、北東から南西に縦断するJR四国予讃線の「愛ある伊予灘線」を経由する3種類のラッピング車両(気動車)です。

Q.A～Cの車両は、次のうちの名称で呼ばれていますか。



応募方法

①クイズの答え おさんぽなんよ号-() 鬼列車-() すまいるえきちゃん号-() ②住所③氏名④年齢⑤本紙の感想(どの記事が良かったか)などを明記の上、郵便ハガキ・Eメール・公式HPの応募フォーム(下記のQRコードからアクセス)のいずれかにてご応募ください。正解者の中から抽選で1名の方に図書カード500円分をプレゼントいたします。



宛先 〒799-3124 伊予市三秋甲271-2 地域新聞みあき事務局 宛
Eメール info.miaki@gmail.com
応募締切 2023年9月4日(月) 必着
当選発表 本紙第20号にて
※ご応募いただいた皆様の個人情報は事務局にて厳重に管理し、プレゼントの発送及び当事務局からのお知らせ以外の目的では使用いたしません。

第18号のクイズの答えと解説

答え ①城戸豊吉…(ヤマキ) ②明関ナツヨ…(マルトモ) ③岡部イチノ…(彌満仁・ヤマニ)
解説 城戸豊吉 明治24年～昭和40年 ヤマキの創業者で初代伊豫市長
明関ナツヨ マルトモの創業者・明関友市(明治16年～昭和31年)の妻
岡部イチノ 彌満仁(ヤマニ)の創業者・岡部仁左衛門(明治16年～昭和35年)の妻



また参道には、本堂大改修時(平成3年3月)の寄附石の芳名にも御三家関係の城戸恒氏・明関和雄氏・岡部悦雄氏の名前があります。第18号の当選者は、伊予市の高岡さんです。おめでとうございます。

お詫びと訂正

本紙第18号の内容に誤りがありましたので、下記の通り訂正いたします。ご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。
誤: 第16号のクイズの答えと解説
正: 第17号のクイズの答えと解説
誤: 第16号のクイズの正解者は残念ながらいませんでした。
正: 第17号の当選者は西予市の佐田さんです。おめでとうございます。

皆さんのご家に古い写真が眠っていませんか? 昔の風景やお祭り等、三秋に関する昔の写真がございましたらご連絡ください。また、その他の投稿・情報、写真も随時お待ちしております。
★みあきの〇〇〇★うちの家族を紹介します et c...
自薦他薦問いません。お近くの当新聞編集委員会もしくは、メールにてご連絡下さい。
info.miaki@gmail.com

おしせ
メールアドレスQR

みあき図書館 (文責・岡田 有利子)

『ぼくのコレクション 自然のなかの宝さがし』 盛口満 (文・絵) 福音館書店



大人にとっては見慣れた風景でも、子どもたちは自然の中にいろいろな楽しみを見つけます。ドングリや葉っぱ、小石や小枝など、飽きもせず拾っては溜めていく作業も、子どもの得意技ですね。かくいう私も、幼いころダンゴムシを集めた記憶があります。今となっては、集めた後のことは覚えていないのですが…
「自然のなかの宝さがし」という素敵な副題が付いているこの本。子どもの頃からモノを拾い集めるのが好きだった著者が、春夏秋冬で採取したものを分類し、繊細なイラストと

文章で丁寧に紹介しています。例えば夏ならば、「夏の畑」「夏のドングリ」「夏の虫いろいろ」「樹液レストラン」「ウンコの宝石」「飛んで灯に入る夏の虫」「卵のおしゃれ」など、定番はもちろん、ユニークな切り口も面白い。

子どもが拾ってくるものは、つつい汚いもの、いらぬものと思いがちですが、子どもたちが自然の中に感じたものを大切にしたいですね。生まれた好奇心や深まる感性は、大人になってからも必ず自分を支えてくれます。
もうすぐ三秋も虫が飛び頃でしょうか。虫をコレクションすることはできませんが、暗闇を舞う光を見て、子どもたちは何を感じるのか。傍らには大人がいて、子どもたちは安心して未知の世界へと足を踏み入れます。多世代が参加する「ほたるまつり」で人の温もりを感じながら、自然と触れ合えるといいですね。その記憶は必ず、大人になっても残ります。忘れていたようにもふとした折に、虫を見た夜を思い出す。自分が育った三秋の自然が心にあるのです。

うちの家族を紹介します (文責・日山 貞治)

No.10 亀岡 修さんの「クー」ちゃん

性別: 女の子
年齢: 3歳くらい?
種類: 茶トラの雑種
2年前に、会社の倉庫に迷い込んで引き取ることになり、家族の一員になりました。
性格: ご主人が出勤する時のお見送り、帰宅した時のお出迎えをしてくれる優しい子です。でも時々、好き勝手にわがままな一面もあります。



編集後記

先日、防災士フォローアップ研修に参加してきました。主に、家庭で使用する身近な防災用品について、使用訓練を行いながら、効果的な使用方法を学びました。地震の時、最も多いのは、家具の転倒によるケガだそうです。ここ最近また地震が頻発しています。まずは、家具の転倒防止対策から防災対策はじめてみては如何でしょうか。

地域新聞みあきの公式Instagram
グラムの方でも随時情報をUPしております。こちらのフォローの方も宜しくお願いします。

公式 Instagram

公式HP

miakinews

